

ギャラリー展示のご案内

是非、お越しいただきご鑑賞ください

野添コミセンギャラリー 只今の展示作品

『押し花』



武田 富美恵さん
『ちりめん細工』



次回の展示予定 11/6 (水)～『色鉛筆画』

東部コミセンギャラリー 10月の展示作品

西田守氏
『油彩画』



※額装も手作りです

次回の展示予定 『播磨南中学校 美術部作品展』
11/7 (木)～11/30 (土) と
12/16 (月)～12/28 (土) の期間展示します。

毎月
開催



- 11/7 (木) 14:30～16:30 野添コミセン
- 11/14 (木) 14:30～16:30 南部コミセン
- 11/19 (火) 10:00～12:00 東部コミセン
- 11/26 (火) 15:00～17:00 西部コミセン



まちづくりやまちのことのなんでも相談会です。サークル活動のこと、自治会活動、地域の困りごとなど播磨町のことならなんでも構いませんので、ぜひ、気軽に寄ってください。時間内であればいつ来ていただいても大丈夫です。

【お問い合わせ】 協働推進課 TEL: 079-435-2364

播磨町内のコミュニティセンター等で開催するイベント等を掲載します。問い合わせは各コミュニティセンターまで、お待ちしております。

陶芸『絵付教室』 参加者募集!!

今回は深めのお皿に可愛い花柄の絵付けをします。描きたいものを持参してもOK!
自分用はもちろん、大切な方へのプレゼント用にも最適です♪

【場所】 東部コミセン 1階大ホール
【講師】 nao 陶芸 中川直行
【参加費】 1人 500円
【定員】 先着 10名 (幼児は保護者同伴)
【申込み】 事前に窓口でお申し込み下さい。
※詳細は東部コミセンの申込チラシをご覧ください



東部コミセンで新サークルがスタートします
『リアル鉛筆画教室』 生徒募集!!

鉛筆のみで絵を描いてみませんか。簡単なものから精密なものへと順を追って仕上げていきます。初心者さんも大歓迎です!!

【日時】 第2・4火曜日 10時～12時・14時～16時
(午前か午後かお好きな時間)

【場所】 東部コミセン
【講師】 角本 妃奈子《坂本七海男監修の鉛筆画教室講師》
【入会金】 1,000円
【月会費】 3,000円 (月2回) ※別途画材代
【体験料】 1,500円 (予約制)
※体験は各会場へお電話で氏名・連絡先をお伝えください



※野添コミセンにて第1・3月曜日の同じ時間に教室を開催しています。(会費等は同じです) 野添コミセン ☎ 078-943-4825

【お問い合わせ】 東部コミセン 078-943-6611

『クリスマスブーツ装飾ワークショップ』

クリスマスのブーツに飾りつけをしてステキなブーツを作りましょう

【日時】 11/16 (土) 13:30～16:00
【場所】 西部コミュニティセンター 第二・第三研修室
【講師】 森 昌子 (クレイアートフラワー ラン工房)
【参加費】 700円 (材料費込み)
【定員】 20名 (先着順)
※ご家族で参加等の場合は予約時にご相談ください。

【申込方法】 お電話にてご予約をお願いします。
090-2356-2265 (講師 森) または
090-4289-5108 (田中)
電話受付時間 (12:00～18:00)
※不出時は折り返しご連絡いたします。

【お問い合わせ】 西部コミセン 079-436-9900

令和6年
11
月号

Pick up 情報
2024 (令和6) 年
11/23 (土)
24 (日)

展示の集い 舞台の集い 食の集い
の3部門構成で開催します!

展示の集い 23日(土) 24日(日)

23日(土) 9:00～16:00
24日(日) 9:00～15:00

場所 野添コミセン 館内

《展示サークル》

- フォト播磨
- 木彫教室
- 楽しい子ども絵画教室
- デコラティブ トールペイント
- 生花 (小原流)
- 日本画教室
- 希季の華友
- 子ども書道教室
- 絵手紙
- 着物でソーイング
- クラフト
- ちりめん細工
- リアル鉛筆画
- ゆうあい園

舞台の集い 24日(日) 9:30～12:00

《舞台発表プログラム》

9:30 開会宣言
9:40 演技開始

1. キッズダンス (ピピン)
2. 歌と演奏 (ニュー☆ハリマバンド)
3. チアダンス (EAGLE チアダンスサークル)
4. 津軽三味線 (高橋 静韻)
5. 阿波踊り (めっちゃ楽連)
6. ヴァイオリン、歌、踊り (ミスターダンと仲間たち)
7. キッズジャズダンス (ダンシングチーム KIRARA)

11:55 閉会宣言
※進行上プログラム内容・時間に変更がある場合がございます。

場所 蓮池小学校 体育館

24日(日) 子ども将棋教室
10:00～12:00 【場所】 野添コミセン 交流ルーム

第26回 ふれあい文化の集い

*当日は徒歩・自転車でお越しください。

食の集い《食育》 23日(土) 9:30～12:00頃

場所 野添コミセン 多目的ホール・駐車場

「デコ巻き寿司」「餅つき」に挑戦しよう

デコ巻き寿司は、日本の伝統料理をアレンジして、切り口が動物などのキャラクターなどになっている可愛いお寿司です。餅つきにも挑戦します!!



【実施日時】 11/23 (土) 9:30～10:30 (デコ巻き寿司)、
10:30～ (餅つき)

※ 時間に多少の変更がある場合がございます。
【参加費】 ひとり300円 ※ 開催当日にお支払いください
【参加対象】 小学生 ※ 3年生以下は保護者の同伴をお願いします
【申込方法】 小学校で配布予定の案内チラシをご覧ください。
・参加申し込みはQRコードから。 QRコードはこちら
・野添コミセン窓口でも受付いたします。

【受付期間】 10/28 (月)～11/4 (月) 9:00～18:00 (コミセン窓口)
※ 日曜日は、17:00 まで

【募集人数】 20名 ※ 20名を超えた場合抽選
※ 11/11 (月) までにメールか電話にて抽選の結果をお知らせします。

■ アレルギーのある方は申込みできない場合があります。



野添コミセンにて販売

※ いずれもなくなり次第販売終了です。

- 23日(土)
- 9時～12時 花苗 (花と緑の協会)
 - 10時～12時 駄菓子 (駄菓子チルチル)
 - 11時頃 たこ飯 (播磨灘でとれた干しダコ使用)
 - 11時～12時 天然酵母パン (ひとつむぎ)
 - 10時～14時 ドリンク、シフォンケーキ販売 (このこケーキづくりの会)
- 24日(日)
- 10時～12時 駄菓子 (駄菓子チルチル)
 - 11時～12時 天然酵母パン (ひとつむぎ)

CHECK!!

野添コミセン イベント情報

イベントのお申込みは、野添コミセンへお電話か、窓口へ

11/9 土 カローリング教室

※ 今月は土曜日(11/9)の開催となります

【時間】 9:00-12:00
 【場所】 野添コミュニティセンター 多目的ホール
 室内でカーリングができる新しいスポーツです!

お申込み 前日までにお申込みください。

11/16 土 高齢者向けスマホ教室

午前の部 10:00-12:00 午後の部 13:00-15:00

【場所】 野添コミュニティセンター 多目的ホール

ペンギンモバイル公式認定アドバイザーと地域のスマホサポーターの皆さんがどんな質問にもいねいに対応いたします。

お申込み 申込み締切：11/8 (金) ※ 申込み多数の場合は抽選

骨折予防相談会 (野添コミセン)

【日時】 11/26 (火) 10:00 ~ 12:00
 【集合】 野添コミュニティセンター
 【対象】 75歳以上の方または骨粗しょう症・骨折が心配な方
 【定員】 16名
 【内容】 骨密度・体組成測定(※)、管理栄養士・理学療法士による相談、乳製品の試飲
 ※裸足で測定しますので、裸足になりやすい格好でお越しください。
 【費用】 無料

【申込み】 播磨町役場保険課 ☎ 079-435-2581 (2日前までに電話で申し込みください。)

防犯研修会のご案内

【日時】 11/29 (金) 18:00 ~ 19:00 (予定)
 【場所】 野添コミセン 1階 多目的ホール
 【対象】 地域安全まちづくり推進委員 (はーとふる野添)・防犯連絡所員・自治会長
 【講話】 「新しい犯罪と加古川警察管内の犯罪傾向と対策」
 加古川警察署 生活安全課

お問い合わせ
お申込みは

野添コミュニティセンター 【窓口】 9:00~18:00

【住所】 播磨町西野添 1丁目 14-17 【TEL / FAX】 078-943-4825



ホームページアドレス
www.nozokomisen.info



LINE 公式アカウント

【 県外視察研修報告 ~ 長島愛生園 と BIZEN 中南米美術館 ~ 】 (前半)

去る10月13日、野添コミセン区各自治会のいきいき推進委員、コミュニティ委員、コミセン職員あわせて21名で岡山県の長島愛生園歴史館とBIZEN 中南米美術館の視察研修に行ってきました。2回に分けて報告したいと思います。

愛生園歴史館では、学芸員から初めにハンセン病とその歴史について説明を受けました。古い文書によると奈良、平安時代からその存在が確認できるというハンセン病は、かつては「らい病」と呼ばれましたが現在は偏見・差別を助長するものとしてその呼称は使用されなくなりました。感染力の非常に弱い疾患で、乳幼児期以外ではほとんど発病せず、万一感染しても栄養状態、衛生状態等がよければほぼ生涯発病せず、遺伝病ではありません。

6月に下見に来たときにも強く感じましたが「なんとなく(バラバラと浅く)知っている」と「歴史的に具体的に知る」は天と地の差があります。ハンセン病の後遺症である皮膚と神経(筋肉および感覚)への影響について初めてくわしく知ることができました。たとえば皮膚に痛みを感じないため、知らないうちに火傷をしたり、傷をおったりしても気づかずに悪化し手足を切断せざるを得なくなることが多いのです。



▲千羽鶴をお供えた納骨堂

次に、明治政府以降、日本の政府が行ってきたハンセン病患者に対する偏見(伝染力が強いという間違った考え等)にもとづく差別的な政策を学びました。1929(昭和4)年には各県が競ってハンセン病患者を見つけ出し、強制的に収容させるという「無らい県運動」が始められたと聞き、まるでナチスのユダヤ人迫害のようだと思いました。療養所に収容されたハンセン病患者には結婚しても子どもをもつことが認められず「断種」手術、中絶等が強制されました。驚くべきは戦後になっても状況は変わらず、1948(昭和23)年に成立した「優生保護法」ではその対象としてハンセン病が明文化されたのです。その前年の1947(昭和22)年、ハンセン病の画期的な治療薬プロミンが日本に導入されたにもかかわらず、政府がつい最近になるまで差別的な政策を継続した原因として、ハンセン病のこゝろやハンセン病患者の苦しみを知らずとなかった大多数の日本の市民の責任(無関心)があげられると思います。

一方、愛生園歴史館の展示の中には『光と陰の軌跡』というコーナーがありました。厳しい療養生活の中でも創作活動、文化活動に光を見出した人々の功績が紹介されています。視覚障害者を中心に結成されたハーモニカバンド「青い鳥楽団」では唇で点字楽譜を読み、感覚のない手でハーモニカを支えて園内外で演奏活動が続けられたといえます。

今回の研修を通じ、「無関心」の恐ろしさを知り、偏見や差別のない世界をつくるためにも世界中のさまざまな差別に関心を持つことの大切さを確認することができました。その思いを胸に、コミセンや自宅で皆さんが作成してくださった千羽鶴を納骨堂にお供えました。

(次回はBIZEN 中南米美術館の視察研修について報告します)

視察報告

愛生園歴史館の前で記念撮影



開催報告

いきいきフォーラム 『第5回男らしさって?女らしさって?』

9月28日、ジェンダーワークショップ『第5回男らしさって?女らしさって?』が男性の講師である灘中学校・高等学校教員の片田 孫 朝日さんをお招きして『父親の家事・育児と男子の保育・教育』というテーマで開催されました。平日は妻よりも長く育児に関わるという片田さんは、「育児は男性の人生の幅を広げ、人生を豊かにしてくれる特別な経験である」と熱をこめて話し、「育児をしない」男性政治家による「赤ちゃんはママがいいに決まっている(2018年)」という発言に疑問を呈しました。そして「育児を1人で行うのは大変であり、父親・男性は母親・女性と同等の育児・家事能力をもてる」ので、「父親・男性が育児を担える社会をどう作るのか」が課題であると語りました。

フォーラム後半では男子文化の問題がとりあげられ、「遊び?それともいじめ?」という問題をテーブルごとに話し合い、「傷つけられ、はらが立ったら怒っていい。しかし、殴ったり、けったり、暴言をはいたりする(方法)ではなく、勇気をもって悲しみや怒りを言葉で伝えるなど(非暴力の方法)を用いることが大事だ」と訴えられました。

自分と異なる意見や異なる立場の相手を尊重し、お互いの考えを交換できるようなコミュニティ、社会を築いていきたいものです。

フォーラム終了後、片田さんからは今回のように年代も性別も多様なメンバーを相手に話すことは珍しい経験で、今後も協力させていただきます、という有り難い言葉をいただきました。これからもジェンダーについて皆さんとともに学び続けていきたいです。



開催報告

親子で喜瀬川探検隊 & クリーンキャンペーン

9月29日、「親子で喜瀬川探検隊 & クリーンキャンペーン」を開催しました。最近小学校で配布してもらうチラシやコミセンだよりを見て参加を申し込んでくださる方が増えており、今回も20名ほどの親子が参加してくれました。

このイベントは野添コミュニティ委員会「健全育成部」というちょっと固い名称とは真逆の、とても面白いコミュニティ委員たちと生物や環境について学んでいる学生サポーターたちによって企画、運営されています。

今回の探検はふるさと橋から城橋にかけての範囲を対象としました。喜瀬川にも生育する特定外来種の説明の後、子どもたちに喜瀬川の水質検査してもらいました。そして親子で喜瀬川に入り、魚とりとゴミ拾いをワイワイと楽しく行いました。

その後、学生サポーター作成の魚クイズが「クイズでホイ」という愉快なギター演奏を伴奏に行われ、子どもたちが踊り出すなど盛り上がりしました。

参加した皆さんからは「こんな企画をまたやってほしい」「このような活動を通じて、地元の川がきれいになっていくのだと実感しました」といった声をいただきました。

水質調査中



「ライギョ」です!!



コミュニティ委員がギターを引きながら...

「クイズでホイ」

盛り上がりしました

防災訓練延期のお知らせ

11月17日(日)に開催予定だった播磨町の総合防災訓練が2025年2月16日(日)に延期となったことにもない、播磨町とタイアップして開催を予定している野添コミセン防災訓練も来年の同日に延期します。各自治会の自主防代表の皆さんには別途連絡をいたします。

館長だより

8月28日、NHKの朝の番組「あさイチ」で「知っておきたいワクチンと救済制度」という特集がありました。日本でのべ4億回以上接種された新型コロナワクチンの予防接種の副反応による健康被害が起きた場合、国の救済制度「予防接種健康被害救済制度」を知っておくことが大切だということです。テレビではあまり取り上げられてこなかった内容のため反響を呼んだようです。この10月1日から新たに「レプリコン」というコロナワクチンが追加されたばかりですが、これまでのワクチンと何が違うのか、わたし自身よく分かっていませんでした。たまたまコミセンでコロナワクチンについての学習会があったので参加したところ、自分があまりにも知らないことが多かったことに驚きました。ワクチン接種によって副反応が起こるのは仕方のないことです。ただ新型コロナワクチンについて知っておくべきことはそれぞれが努力して情報をより分けながら集め、判断すべきなのだとも痛感しました。今後コミセンでもそんな機会を設けられたらよいと考えています。